

「スマートフォンアプリを用いた小児の成長・発達・生活習慣に関する観察研究」に対するご協力をお願い

研究責任者 鳴海 覚志
研究機関名 慶應義塾大学医学部
所属 小児科学教室

このたび慶應義塾大学医学部小児科では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる研究対象者およびデータ入力者（保護者など養育者）へ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、研究対象者およびデータ入力者（保護者など養育者）への新たな負担は一切ありません。また研究対象者およびデータ入力者（保護者など養育者）のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない研究対象者およびデータ入力者（保護者など養育者）は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

スマートフォンアプリ「パパッと育児@赤ちゃん手帳」に登録された児

2 研究課題名

承認番号 20231080

研究課題名 スマートフォンアプリを用いた小児の成長・発達・生活習慣に関する観察研究

3 研究組織

研究代表機関
慶應義塾大学

研究代表者
教授 鳴海 覚志

共同研究機関
株式会社 ファーストアセント
(アプリ開発元)

研究責任者
CEO 服部 伴之

4 本研究の目的、方法

小児医学では、健常小児の定型的な成長・発達、およびその幅の理解が必要不可欠です。健常小児の成長・発達・生活習慣の幅を知ることは、典型からの逸脱をより早く察知し適切な医療につながられるのみならず、養育者の心理的不安を和らげることに役立ちます。核家族化が進む中で、祖父母や地域のサポートなく子育てをする親も多く、適切な育児指導の重要性は増えています。しかし、多様性を増す現代の生活環境の中で、現代の日本人小児の集団の特性や、どのような環境因子が成長・発達や生活習慣と関連しているかは十分にわかっておりません。

本研究では、スマートフォンアプリを用いて現代の日本の小児の成長・発達・生活習慣の実像を高精度に明らかにします。また、それぞれの因子間の関連（例えば、「寝る子は育つ」と言われていますが、実際に睡眠時間と身長伸びに相関関係があるのか？）を検証することで、現代日本人小児の適切な健康管理や科学的データに基づく育児指導を行うための基礎データを構築します。

5 協力をお願いする内容

スマートフォンアプリ「パパッと育児@赤ちゃん手帳」に入力された情報（管理 ID、性別、生年月日、居住地（IP アドレスに基づく都道府県）成長・発達に関わる情報、栄養・排泄・睡眠・入浴・体調・予防接種・集団生活などに関する情報、養育者のメンタルヘルスに関する情報、泣き声など）を収集させていただきます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2033 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

アプリで入力された情報はアプリの開発元である株式会社ファーストアセントが管理しているサーバーに保管されていますが、個人特定につながるデータが含まれない状態で慶應義塾大学医学部小児科の研究グループにデータを提供し、解析を行います。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

実施機関名	慶應義塾大学
所属・役職	医学部小児科学教室・助教
担当者氏名	古市 宗弘
電話番号	03-5363-3816

また本研究の対象となる児またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合はアプリ内フォームよりご連絡をお願いいたします。

以上